

第2回 考古天文学会議プログラム

会場：南山大学 名古屋キャンパス R棟57教室

2月15日（土）午後1時30分

13:30 開会挨拶 後藤明

13:35～14:15 瀬川拓郎（札幌大学）「アイヌの埋葬頭位と他界」

14:15～14:55 辻田淳一郎（九州大学）「平原遺跡の周辺地域のその後に関する検討」

14:55～15:35 後藤明（南山大学）

「南方世界における考古天文学：オーストロネシア集団の方位観と暦」

休憩

15:45～16:25 保立道久（東京大学）「月の王＝天皇と夜見国-新嘗祭にもふれて-」

16:25～17:05 北條芳隆（東海大学）「三内丸山遺跡と北限の満月」

17:05～17:40 討論

懇親会18:15～「美ゆき」

2月16日（日）午前9時30分

9:30～10:10 丹羽悦子（南山大学大学院研修生）

「テオティワカンの星空と方位軸：都市で物質化された自然界の摂理とは」

10:10～10:50 北尾浩一（星の伝承研究室）

「星に名前をつけるということ・・・南西諸島、瀬戸内海、岩手県を事例として」

10:50～11:30 北條芳隆（東海大学）「沖縄県西表島の方位石調査の途中経過報告」

休憩（昼食）

12:30～13:10 後藤明（南山大学）

「エアドームプラネタリウムでの社会還元活動-日向市・標津町での実践例-」

13:10～13:50 高田裕行（国立天文台）「認知天文学の射程-心の宇宙を観る-」

13:50～14:30 討論

14:30閉会挨拶 北條芳隆

会場までの交通

名古屋駅-（地下鉄東山線）-本山-（地下鉄名城線・右回り八事方面）-八事日赤-徒歩

推奨するホテル

覚王山の「ルブラ王山」、千種の「メルパルク」、池下駅・今池周辺（ホテルレオパレス、ルートインなど）、もしくは栄や名古屋駅周辺のホテルをお取りください。名城線で来られるので、新瑞橋とか金山でも便利です。

南山大学 人類学博物館の見学

土曜日（15日）は開館しておりますので、会議の前に見学なさることをお勧めします。

博物館は研究会が行われるR棟の地下にあります。

